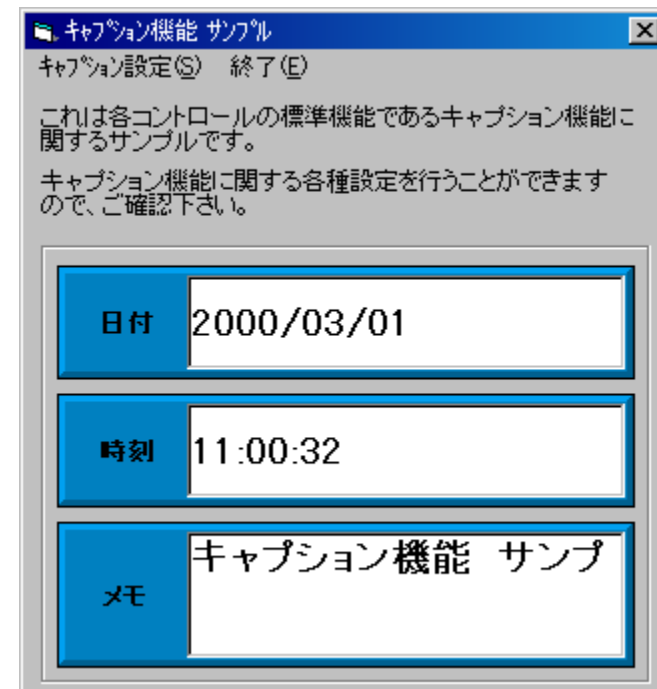
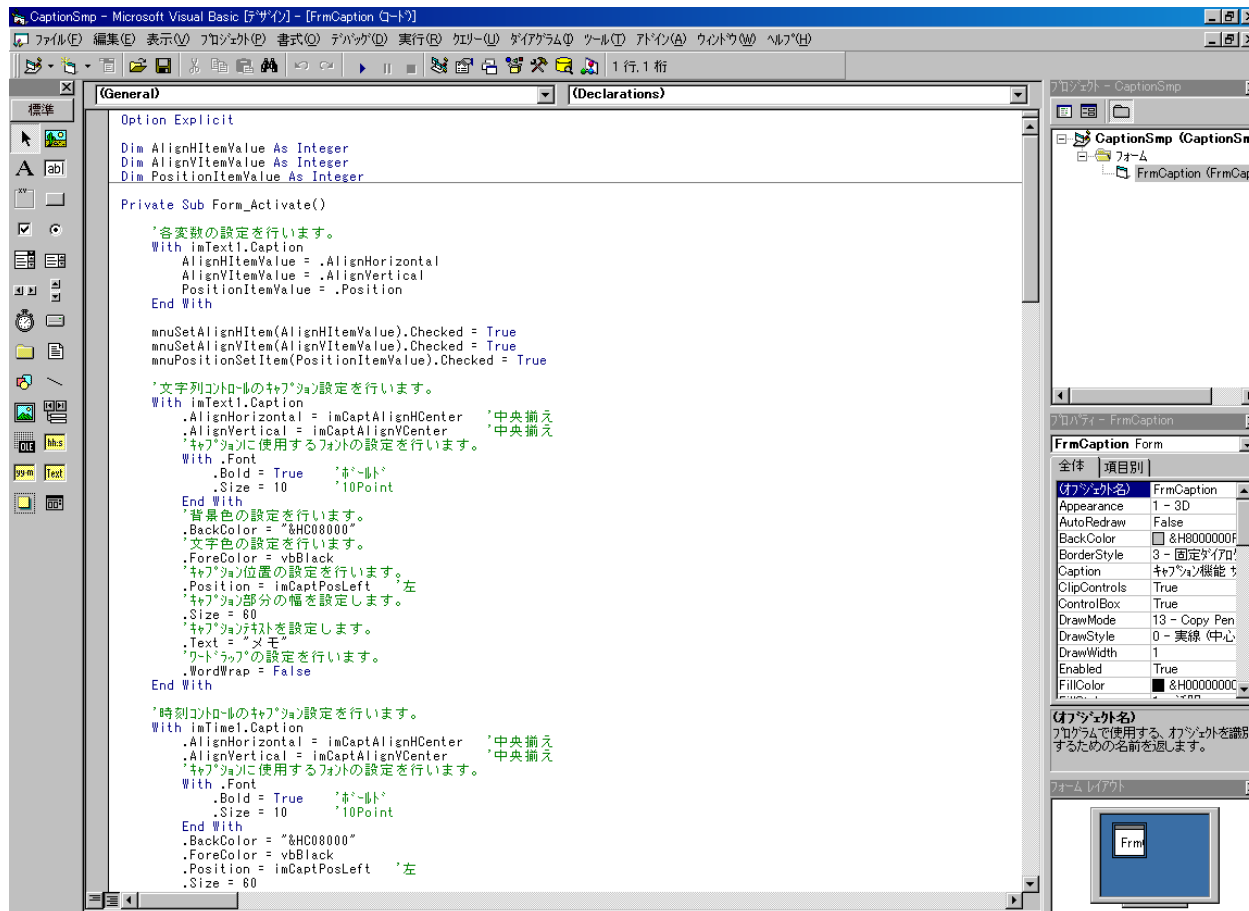


01: Sample Project(CaptionSmp.vbp)

サードパーティ製のOCXを、ラッパーを作成してマイグレーションする例として、InputMan6.0Jに同梱されているサンプルプロジェクト、CaptionSmp.vbpプロジェクトを変換します。



```

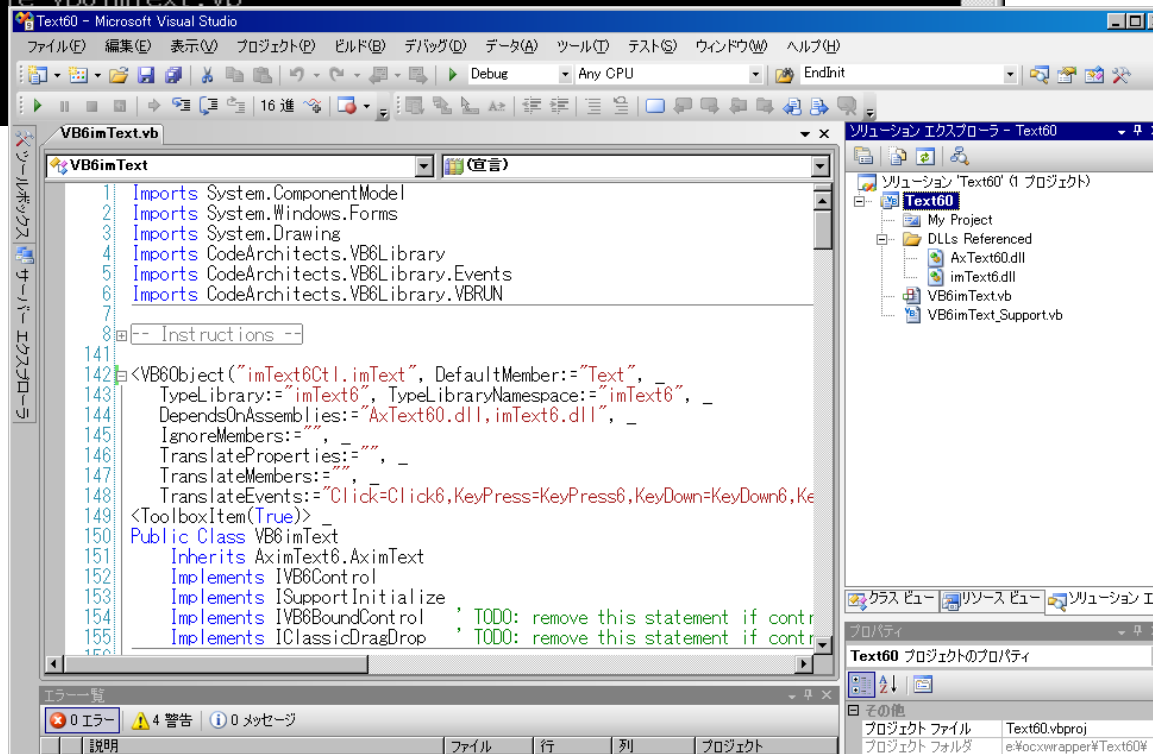
C:\>C:\WINDOWS\system32\cmd.exe

C:\>AxWrapperGen "C:\Program Files\InputMan65\Controls\Text60.ocx" /out:e:\ocxwr
apper /project:Text60 /version:2008

-----
ActiveX Wrapper Generator for VB Migration Partner
(C) 2006-2009 Code Architects, Italy
-----

Converting C:\Program Files\InputMan65\Controls\Text60.ocx control ...
Creating subfolders...
Generating source file VB6imText.vb
Generating source fi
C:\>

```



始めに、VBMPに組込まれているAxWrapperGenを起動し、当該OCXのラッパーを作成します。

※詳細は別添、

「VBMPOCXラッパー作成.pdf」
をご参照下さい。

作成すると自動的に下記.NETのSolutionが起動されます。最後にコンパイルすると、ラッパーDLLが完成します。

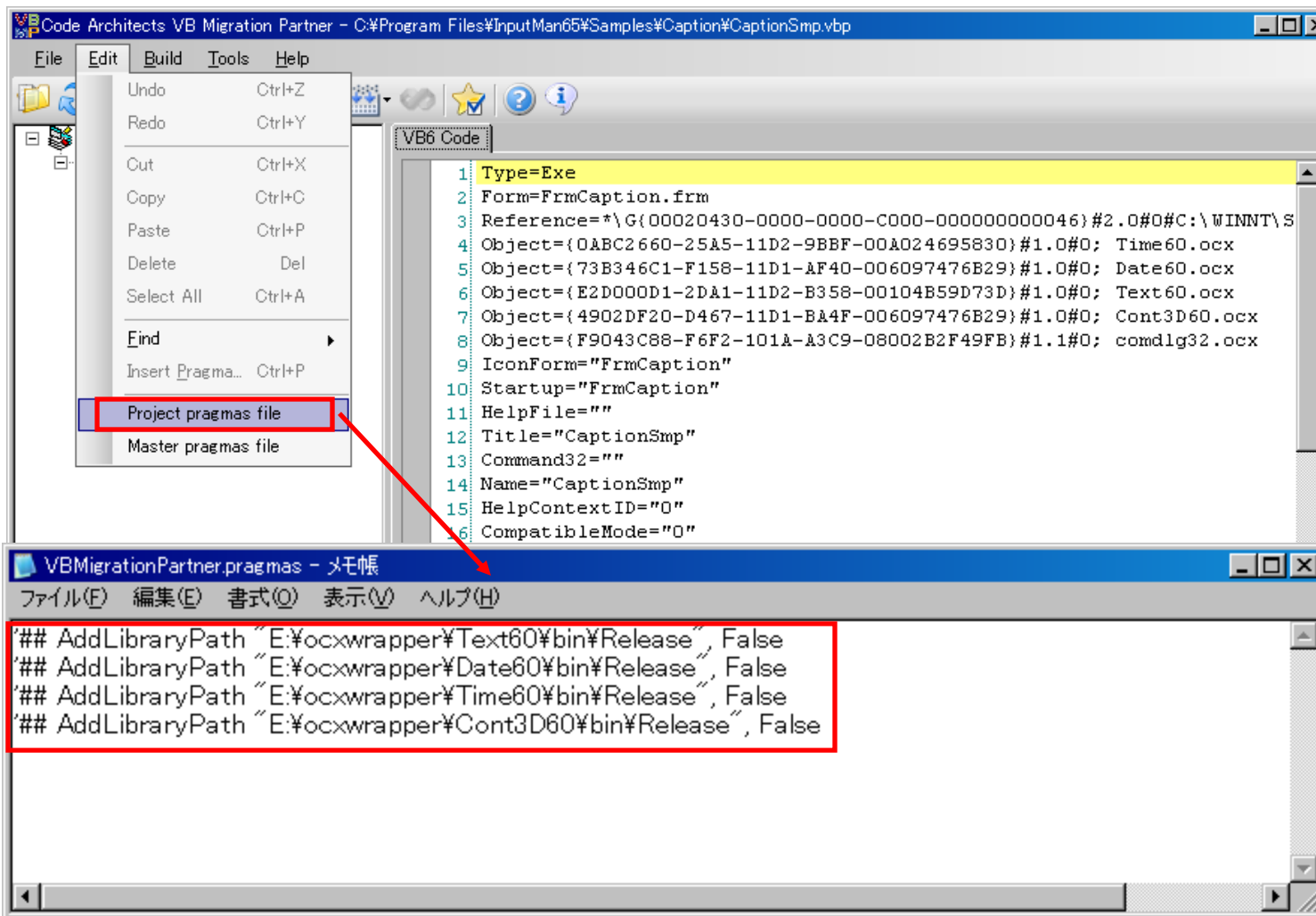
MSのUpgradeToolではVB6Project変換時にラッパーは自動的に作られますが、Solutionとしての保存はありません。

.NETでは障害になるプロパティがあり、ラッパーにもそのケースがあります。Solutionとして保存しているので、ここで修正することができます。

※この画面はimTextのラッパー作成時のキャプチャーです。他のOCXも同様に作成することが出来ます。

03: ラッパーDLLの参照を通す(VBMP)

Solution for tomorrow



VBMPには変換ルールを指定するPragmaという機能があります。

今回はこのPragmaに変換対象のプロジェクトにOCXラッパーへの参照を通すルールを記述します。

ProjectPragmaはProject全体に適用させるルール
MasterPragmaはVBMPの変換全般に適用させるルールです。

O4: 変換を実行、結果確認①(VBMP)

Code Architects VB Migration Partner - C:\Program Files\InputMan65\Samples\Caption\CaptionSmp.vbp

File Edit Build Tools Help

VB6 Code VB.NET Code VB.NET Designer VB.NET Resources Warnings Metrics

```

9 ' UPGRADE INFO (#06E1): Current project references the 'imText6' CO
10 ' UPGRADE INFO (#06E1): Current project references the 'imContainer
11
12 #End Region
13
14 Option Strict Off ' Code migrated from VB6 has Option Strict d
15
16 Friend Class FrmCaption
17
18     Private AlignHItemValue As Short
19     Private AlignVItemValue As Short
20     Private PositionItemValue As Short
21
22     Private Sub Form_Activate() Handles MyBase.Activate
23
24         ' 各変数の設定を行います。
25         With imText1.Caption
26             AlignHItemValue = .AlignHorizontal
27             AlignVItemValue = .AlignVertical
28             PositionItemValue = .Position
29         End With

```

Activity Log Migration Results

Issues (0) Warnings (0) ToDos (0) Information (4)

Description	File	Line	Project
Current project references the 'imTime6' COM type library.	FrmCaption.vb	11	CaptionSmp
Current project references the 'imDate6' COM type library.	FrmCaption.vb	11	CaptionSmp
Current project references the 'imText6' COM type library.	FrmCaption.vb	11	CaptionSmp
Current project references the 'imContainer3D6' COM type library.	FrmCaption.vb	11	CaptionSmp

Last Migration (24.328 secs) - 0 Issues, 0 Warnings, 0 ToDos, 4 Infos

変換が終わると、VBMP上でのエラーの有無が、出力されます。今回の変換ではVBMP上でエラーがない結果になりました。

エラーが無いのでメニューからFile→Save→Save VB.NETFilesを選び.NETソリューションとして保存します。

05: 結果確認 ②(Visual Studio)

Visual Studio 2010 のスクリーンショット。プロジェクトは 'CaptionSmp'。ソースファイル 'FrmCaption.vb' のコードが表示されている。コードの36行から51行は、テキストボックスのフォント設定を行う。37行から39行は、テキストボックスの位置を設定する。40行から42行は、テキストボックスのフォントを設定する。43行から45行は、背景色を設定する。46行から48行は、文字色を設定する。49行から51行は、テキストボックスの位置を設定する。52行は、テキストボックスの幅を設定する。

エラー一覧 (Error List) の内容:

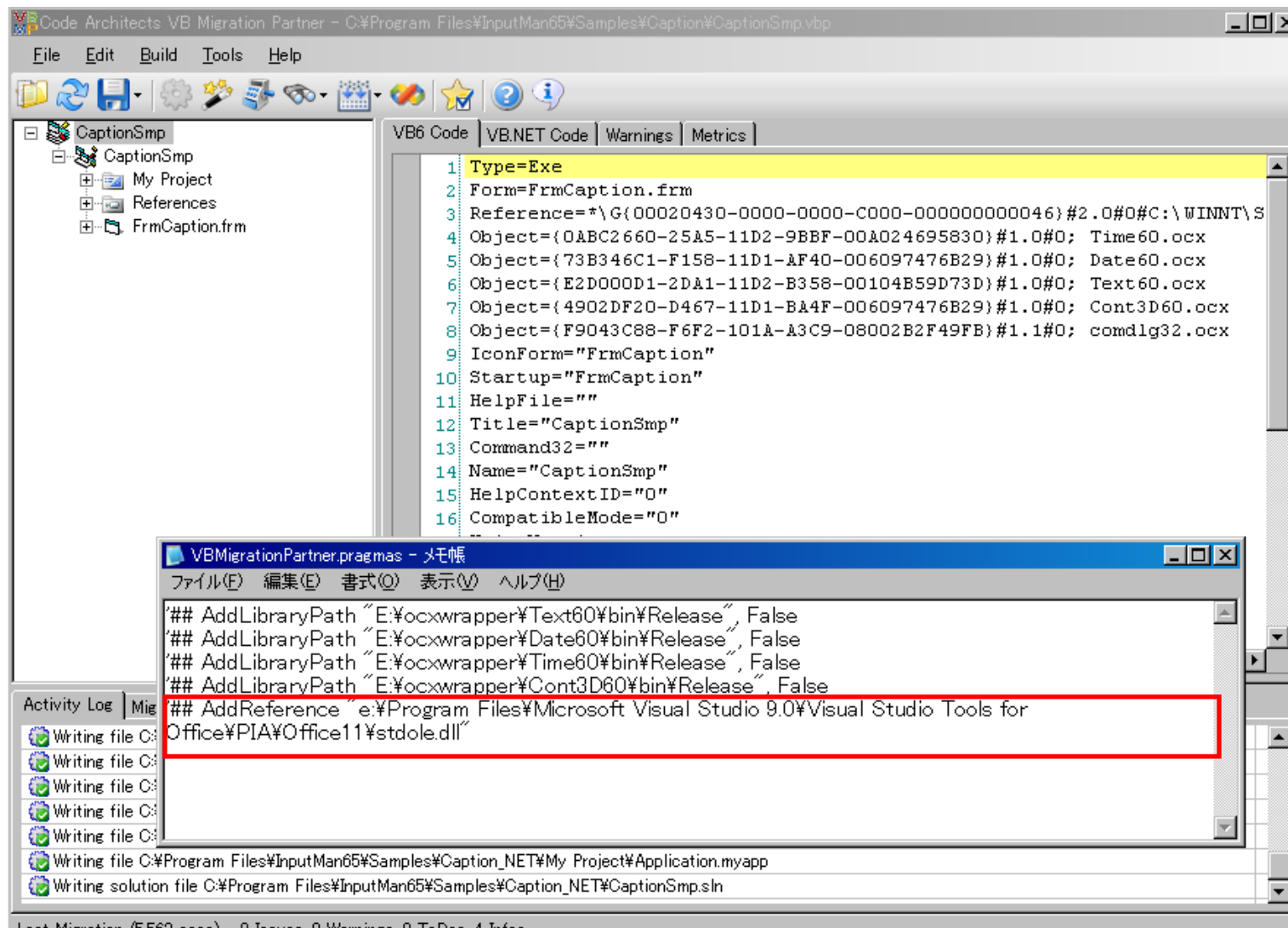
エラー番号	説明	ファイル	行	列	プロジェクト
1	型 'stdole.IFontDisp' を含むアセンブリ 'stdole, Version=7.0.3300.0, Culture=neutral, PublicKeyToken=b03f5f7f11d50a3a' への参照が必要です。参照をプロジェクトに追加してください。	FrmCaption.vt	40	9	CaptionSmp
2	型 'stdole.IFontDisp' を含むアセンブリ 'stdole, Version=7.0.3300.0, Culture=neutral, PublicKeyToken=b03f5f7f11d50a3a' への参照が必要です。参照をプロジェクトに追加してください。	FrmCaption.vt	41	21	CaptionSmp
3	型 'stdole.IFontDisp' を含むアセンブリ 'stdole, Version=7.0.3300.0, Culture=neutral, PublicKeyToken=b03f5f7f11d50a3a' への参照が必要です。参照をプロジェクトに追加してください。	FrmCaption.vt	42	21	CaptionSmp
4	型 'stdole.IFontDisp' を含むアセンブリ 'stdole, Version=7.0.3300.0, Culture=neutral, PublicKeyToken=b03f5f7f11d50a3a' への参照が必要です。参照をプロジェクトに追加してください。	FrmCaption.vt	63	9	CaptionSmp
5	型 'stdole.IFontDisp' を含むアセンブリ 'stdole, Version=7.0.3300.0, Culture=neutral, PublicKeyToken=b03f5f7f11d50a3a' への参照が必要です。参照をプロジェクトに追加してください。	FrmCaption.vt	64	21	CaptionSmp

VBMPではエラーは出ておりませんでした、VBMPから出力されたVB.NETSourceを開くとエラーが出る場合があります。

今回の変換では.NETで開くと、28件のエラーが表示されました。Stdoleというライブラリの参照が不足していることが原因になります。

VB6では参照されていないのですが、変換されたVB.NETではライブラリを参照しなくてはならないプロパティが存在するためです。

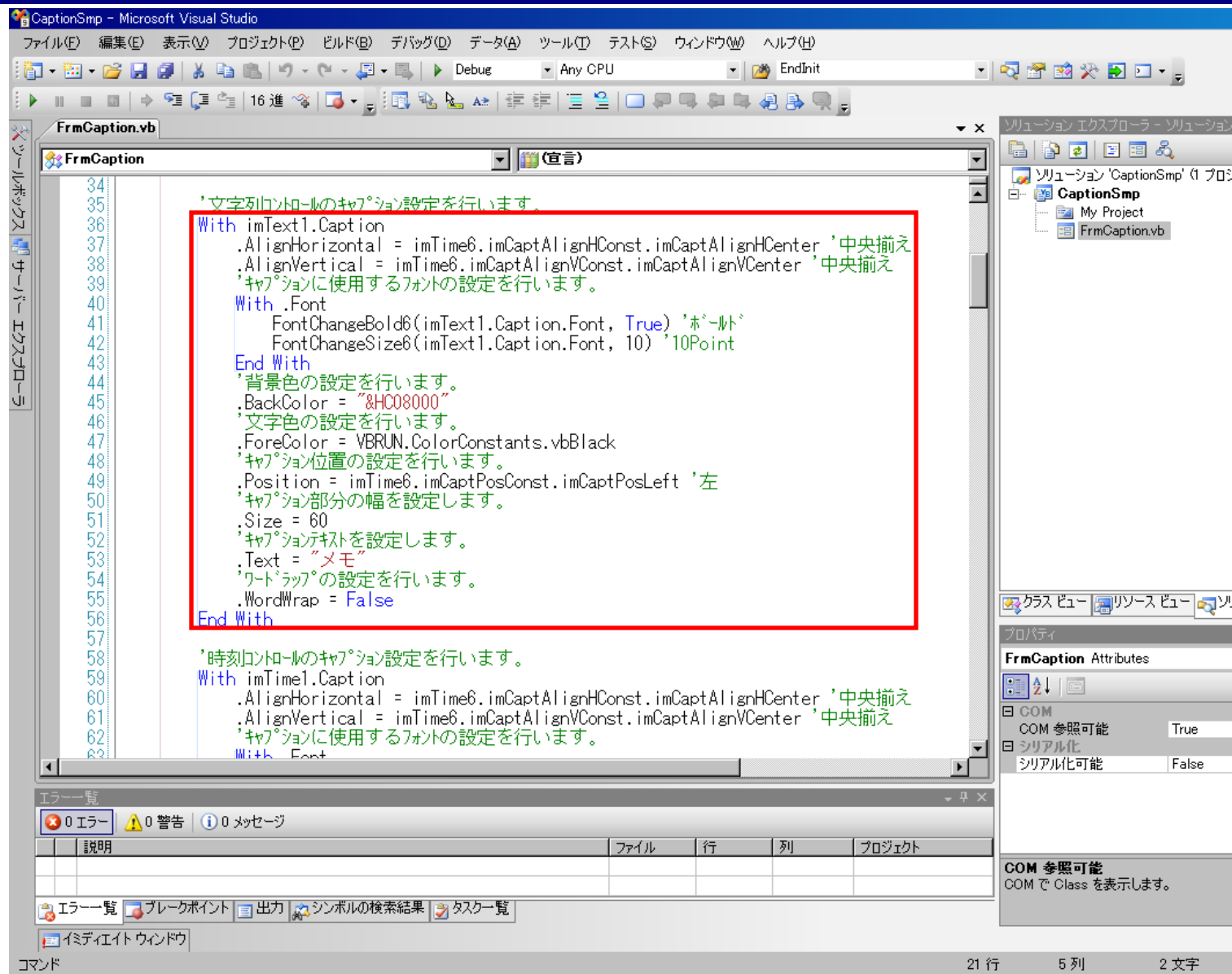
ライブラリの参照を追加(VBMP)



VB Migration Partnerの画面に戻り、Pragmas ファイルに左側のように Stdole ライブラリへの参照を追加し、再度変換します。

※変換後に前回保存した.NET Sourceを上書き保存する必要があります。

07: 結果確認③ (Visual Studio)



今度はエラーなく開くことが出来ます。

imTextのCaptionプロパティも正しく変換されました。

08: 起動確認(Visual Studio)

VB.NETで実行した結果、
VB6と同様の機能として
実行出来ました。

以上で変換作業は終了です。

キャプション機能 サンプル

キャプション設定(S) 終了(E)

これは各コントロールの標準機能であるキャプション機能に関するサンプルです。

キャプション機能に関する各種設定を行うことができますので、ご確認下さい。

日付 2000/03/01

時刻 11:00:32

メモ キャプション機能 サンプル

VB6

キャプション機能 サンプル

キャプション設定(S) 終了(E)

これは各コントロールの標準機能であるキャプション機能に関するサンプルです。

キャプション機能に関する各種設定を行うことができますので、ご確認下さい。

日付 2009/10/07

時刻 10:51:49

メモ キャプション機能 サンプル

VB.NET